



長崎原爆 ビキニ核実験 二度も被ばく 横山幸吉さん

原水禁世界大会で ノーモア核実験被害者

●土佐清港近くで一人暮らしをする元マグロ漁船員の横山幸吉さん(92)は、米国による長崎への原爆投下とビキニ核実験で二度被爆しました。横山さんら元漁船員は高知地裁にビキニ損失補償を訴えて訴訟を起こしています。

横山さんはこの夏、8月4日～6日に広島で開催される原水爆禁止世界大会に参加する予定です。7月18日、しんぶん赤旗は「戦争はだめだ。放射能を出

す核兵器は、みんなの力でなくしてほしい」「これ以上の核実験被害者はノー」と訴える横山さんを一面で報道しました。その中で横山さんは、国がやる戦争の愚かさ、被ばく者に冷たい日米両政府への怒りを語っています。

●横山さんの聞き取りを行った太平洋各被災支援センターは横山さんの聞き取り場面を動画に収め、原水爆禁止2022年世界大会で報告を行います。私も、3年ぶりに被爆地広島・長崎で開催される大会に参加してきます。ビキニ被災者の救援核兵器禁止条約へ日本政府は批准、参加を！

★安倍氏「国葬」に反対！

安倍元首相を国葬にすると岸田首相が表明したことに断固抗議し実施しないことを求めます。

2021年9月18日のしんぶん赤旗は、『靈感商法や集団結婚などの被害が長く続く社会問題となっている旧統一教会(世界平和統一家族連合に改称)に関連する団体が開いた大規模集会に安倍晋三前首相がビデオメッセージを送り、「敬意を表します」などと演説していた』『旧統一教会が勧誘活動や宣伝に利用すること新たな被害につながるおそれがあり、安倍氏の道義的責任が問われます。』と報道し、政治家としてあるまじき行為を糾弾し、警告を発していました。

このような多くの問題を起こしている集団の行事にメッセージを送る、金銭的なつながりを持つ、選挙での応援を受けるなどした政治家の葬儀を、国民の税金を使って行うなど断じて許されません。岸田内閣が安倍氏「国葬」の閣議決定を速やかに撤回する事と政治家との関係を徹底説明する事を求めます。